

越後佐渡おもひる歴史ばなし

旧制中学生の学校生活

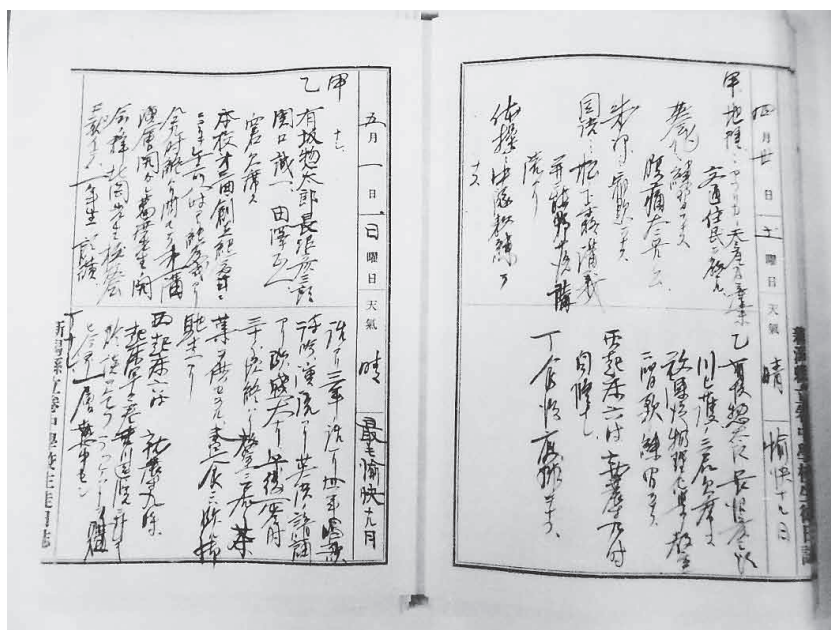
戦前の学校教育は、明治 5 年（1872）の学制発布に始まります。明治 12 年の教育令を経て明治 19 年の学校令（帝国大学令・師範学校令・小学校令・中学校令の総称）に至り、整備が進められました。

旧制中学校は中学校令により定められ、明治 32 年（1899）の改正により設立が進みました。旧制中学校は現在の中高等教育学校にあたるもので、高等小学校第 2 学年課程を修了した 12 歳以上の男子に入学資格が与えられ、修業年限は 5 年でした。

戦前における新潟県立中学校は、新潟・長岡・高田など 14 校ありました。このうち、当館にある資料から県立巻中学生の学校生活の様子を紹介します。巻中学校は明治 40 年（1907）4 月に開校しました。その第 1 回入学生^{わたなべしんじ}の渡邊舜治少年が 4 年 1 学期に書いた日誌が残っています。日誌には、その日に学んだ勉強の概略、学校や家庭での様子などを書くこととされていました。渡邊少年の自宅は旧中之口村打越（現、新潟市西蒲区打越）にあるため、寄宿舎に入っていました。毎日の起床は午前 6 時、就寝は午後 9 時という規律正しい生活を送っています。4 年時に学ぶ教科・科目は、国語・漢文・作文・地理・歴史・幾何・代数・化学・動物・英語・英文法・修身・体操・図画などでした。

4 月 8 日に始業式と新任式があり、翌 9 日から授業が始まりました。9 日は土曜日ですが、授業は丸一日ありました。放課後は庭球（ソフトテニス）に熱中し、4 月 17 日（日）には三条中学校の先生との試合もしています。5 月 1 日は創立記念日で、午前 8 時から式典が行われました。昼食はご馳走が振る舞われ、終了の際には茶菓も出されました。日誌には一日ごとの気分や体調が「愉快ナル日」・「普通ノ日」・「苦痛ナル日」などの区分で書かれていますが、この日は「最モ愉快ナル日」となっ

ています。5 月 18 日には佐渡への修学旅行が予定されていましたが、海上の波が高く、順延となりました。ただ、その後の日誌には佐渡旅行についての記載がないので、旅行は結局中止になったようです。6 月 12 日（日）には白根に行き、友人と風合戦を見物しています。7 月 14 日には「暑中休暇」（夏休み）の宿題が出され、翌日からいよいよ学期試験が始まりました。7 月 20 日までの 5 日間行われ、作文・体操・図画を除く 11 科目でした。試験終了後、大掃除・体重検査・大茶話会が行われ、午後 2 時に終了し、実家に帰省しました。翌日から 9 月 11 日までが暑中休暇です。53 日間に及ぶ長期休暇でした。休暇に入って間もなく成績表が送付されることになっていたため、結果が気になって、勉強が手につきません。そこで、既に届いていた友人の成績表を見せてもらいました。翌日もその友人の成績表を見ましたが、帰宅したら自分の成績表が届いており、ようやく気持ちが落ち着きました。9 月 12 日から学業が再開され、日誌の記載はそこまで終わっています。この日誌は 5 か月余りの記録ですが、旧制中学生の学校生活の一端を知ることができます。



（請求番号 CKBウワ1）

令和5年度企画展 紹介

2階の閲覧室及び1階のエントランスホールでは、約3か月ごとにテーマを決めて所蔵資料を紹介する企画展を行っています。今年度は「過去からの手紙～古文書と資料が語る昔の人々の生活～」と銘打って、文書館所蔵資料の中から近世・近代の人々の生活・日常に関する話題を紹介しています。



〔第1回企画展
1階エントランスホール〕

○第1回 「母も子供も命がけー江戸時代の妊娠と出産ー」

〔5月16日(火)から7月30日(日)まで〕

江戸時代の妊娠・出産に関する詳細な記録はあまり残っていませんが、間接的に書かれた資料からその一部を紹介しました。

○第2回 「いつの時代もお祭り騒ぎー古文書から読み解く江戸・明治時代の祭りー」

〔8月1日(火)から11月19日(日)まで〕

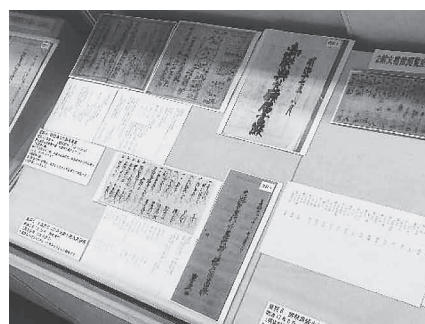
〔特別企画展開催期間の10月17日(火)～11月5日(日)は除く〕

県内各地にはそれぞれ特徴のある多くの祭りがありますが、江戸・明治時代の祭りの様子を当館の古文書を用いながら紹介します。

※11月以降も様々なテーマを設定しながら資料を紹介していく予定です。

○第3回 〔11月21日(火)から2月18日(日)まで〕

○第4回 〔2月20日(火)から5月12日(日)まで〕



〔第2回企画展
1階エントランスホール〕

◇令和5年度特別企画展

絵葉書が語る近代－明治・大正・昭和の新潟－ 開催案内

今日「絵葉書」として親しまれているものの多くは旅先の風景や名所、美術館や博物館等の出品物を写したものです。しかし明治・大正など近代初頭の絵葉書には時事的性格のものが多く存在し、絵葉書は大きな出来事を視覚的に報道する最先端のメディアでもありました。今回の特別企画展では当館所蔵の1,500点を超える絵葉書から県内、新潟市内、皇室、災害、戦争などさまざまなテーマを設けて絵葉書の展示と解説をしていきます。

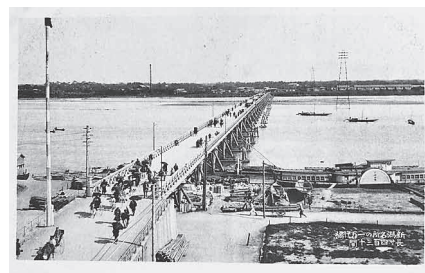
○日時：令和5年10月17日(火)～11月5日(日) 9時30分～17時

連動して **特別企画展解説講座** を開催します。

○日時：10月25日(水)、11月2日(木) 13時30分～14時30分

※両日ともに同じ内容、要事前申込

◇特別企画展をより楽しんでいただくための職員による解説講座です。



〔展示資料〕新潟名所一万代橋
(請求記号 F74-1439-22)

令和4年度に閲覧可能になった受贈・受託文書

新たに閲覧可能となった受贈・受託文書を紹介します。

請求番号	文書名	概 要
E0806-7	越後各地文書－北蒲原郡山口村庄屋柄沢(旧大沢)家文書	北蒲原郡山口村(現阿賀野市)の庄屋を務めた柄沢家の文書群563点。明治期には県会議員を務めた大沢豊太郎を輩出。江戸時代の山口村文書や絵図、明治10年代の訴訟関係書類で構成されている。
E1409	北魚沼郡四日町神職田中家文書	北魚沼郡四日町(旧小出町、現魚沼市)にあった神職田中家の家伝資料767点。神職に関するものが主で、神道許状類や江戸期の祭礼をめぐる神官と修験の争論、江戸後期から明治初期にわたる神主及びその家族の神葬祭に関する文書等。
E1902	北蒲原郡堀越村小笠原家文書	北蒲原郡堀越村(旧水原町、現阿賀野市)の文書群304点。近代の土地売買に関する文書が多く、近代水原地域の土地移動についてうかがい知ることができる。
E1904	歴史家田中惣五郎関係文書等	中頸城郡斐太村(現妙高市)出身の歴史家、田中惣五郎の遺族によって寄贈された資料群154点。田中惣五郎の著書のほか、多数の手書き原稿を収録。
E1908	東頸城郡菖蒲村本山家文書	東頸城郡菖蒲村(現上越市大島区)本山家に伝わる、江戸後期～明治初期の土地経営に関する文書4点。
E2101	明治22年教職名簿	新潟県1区18郡455名、および山形県2名の職名等の情報が記されている。1点。
E2103	戦前旧制高等女学校教科書等	大正～昭和初期に三条高等女学校(現三条東高校)で使用された教科書類82点。
E2201	新潟県都市計画関係資料	昭和40年代を中心とする、新潟県の都市計画に関する資料75点。鳥屋野潟整備計画、雪害防止対策に関する資料などを収録。

令和4年度に閲覧可能になった特定歴史公文書

新たに閲覧可能になった特定歴史公文書の一部を紹介します。特定歴史公文書とは、新潟県で作成された文書のうち、保存年限が満了したもので、歴史的に重要な情報が記録されているとして文書館へ移管された文書です。

請求番号	作成原課・年代・文書名
J22総市町村 1～44	作成原課：地方課 作成年代：昭和30年代～平成4年 文書名：五泉市村松町組合立木越小学校組合例規集、北魚沼郡養護老人ホーム組 合規約、東頸城ごみ処理施設組合例規集、財団法人新潟自治労会館の設立許可、 小千谷市川口町衛生消防組合 ほか
J22土都下 1～14	作成原課：下水道課 作成年代：平成2、3年 文書名：柏崎都市計画下水道の変更、新潟都市計画下水道計画決定変更承認申請書、 村上都市計画下水道計画決定変更承認申請書、長岡都市計画下水道の変更 ほか
Q22教財 1～9	作成原課：教育庁財務課 作成年代：平成3年 文書名：平成3年発生災害復旧事業実績報告書(平成3年9月28日台風19号) ほか

令和5年度 10月以降の主催講座一覧

○古文書講座

講座名	日程	会場	定員	申込開始日
はじめての古文書講座（秋季）	11/8・15・22（水）	制作演習室	15名（予定）	10/6（金）
古文書初級解説講座（冬季）	A：12/6・13（水） B：12/8・15（金）	大研修室	各45名（予定）	各コースとも 11/7（火）

※時間はすべて13：30～15：30の2時間です。 ※テキスト代として100円が必要です。

※古文書初級解説講座（冬季）については、A・Bコースともに同一内容です。

○文書館講座

文書館講座	講座回	日程	会場	定員	申込開始日
	第2回	2/7（水）	大研修室	45名（予定）	1/9（火）

※所蔵する資料を使って県内の歴史を掘り下げていく教養的な講座です。

※時間は13：30～15：30の2時間です。

○文書館歴史講演会

歴史講演会	講座回	日程	会場	定員	申込開始日
	第2回	3/4（土）	ホール	180名（予定）	2/3（金）

※講師は県内外の歴史研究者を予定しています。 ※時間は13：30～15：30の2時間です。

○特別企画展解説講座

コース	日程	会場	定員	申込開始日
Aコース	10/25（水）	大研修室	45名（予定）	各コースとも 9/22（金）
Bコース	11/2（木）	大研修室	45名（予定）	

※特別企画展をより楽しんでいただくための職員による解説講座です。

※A・Bコースともに同一内容です。 ※時間はいずれも13：30～14：30の1時間です。

アーキビスト 文書館職員随想

文化庁発行の「先端技術による文化財活用ハンドブック」（文化庁地域文化創生本部）ではITを活用して、文化財や歴史の基礎に親しめるような事例を紹介している。新潟県の歴史や所蔵の文書等をより多くの皆様に、積極的にご利用いただけるよう努めることは文書館員に課された重要な任務である。先端技術や社会状況に目を配りながら、地域の皆様に気軽に立ち寄っていただけるよう、一層の工夫を重ねていきたい。

今春当館では、県立新潟江南高校美術部に協力いただき、新潟県の歴史を絵画で表現していただいた。先端技術とは一味違う、高校生の清新な感覚で表現された作品を見に当館へお立ち寄りいただきたい。

製作者紹介（新潟江南高校美術部）

上杉謙信

（青木優芽さん（3年）五十嵐菜那さん（2年））

前島密

（石崎あみさん（3年）永井実杏さん（2年））

萬代橋

（加藤芽依さん（3年）小林歩美さん（2年））

学校行事や定期試験の合間を縫って、歴史について学んだり現地調査をするなどしながら約4か月の期間を費やして製作していただきました。



編集・発行 **新潟県立文書館**

〒950-8602 新潟市中央区女池南3丁目1番2号

TEL 025-284-6011 FAX 025-284-8737

URL https://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/?page_id=569

E-mail archives@mail.pref-lib.niigata.niigata.jp